



前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局
前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023
前橋市本町2-12-1
K'BIX元氣21まえばし
3階

☎(027) 210-2198

学びの輪の継続を

前橋市生涯学習課長 若島 敦子

激変した世の中の仕組み

未知の病原体が蔓延し、世界は変わってしまいました。そう、「新型コロナウイルス」です。

今年はこのウイルスに振り回された一年でした。今まで当たり前のようにできていた様々な活動がこのウイルスの影響で制限され、私たちはそれに従うしかありませんでした。

生涯学習奨励員の皆さんの活動も例外ではありません。生涯学習フェスティバル、研修会、実践研究会など多くのものが中止となってしまい、皆さんもどのように活動してよいか、途方に暮れたことと思います。

多くの施設が休館し、町から人々がいなくなりました。皆で集まって学習することがどれほど楽しかったことか！今までも人類は疫病の流行により、大きなダメージを受けてきましたが、実際に遭遇したのは私も初めてです。目に見えないウイルスが

＝コロナ禍の中での奨励員活動＝ 還元したい学習の成果

新しい生活様式を生かして

これほどまでに世の中の仕組みを激変させてしまうのか、とショックを受けました。

このような状況において市民の学習活動を継続させていくにはどうしたらよいのか、頭を悩ませる毎日でした。しかし、感



染拡大防止のための「新しい生活様式」に合わせて作成した各公民館のガイドラインを

皆さんが誠実に守ってくださったおかげで、少しずつ地域での学びを再開させることができました。

「ステイホーム」の期間を皆さんはどう過ごされたでしょうか？家族との時間が持てたり、自主学習や研究が進んだりした方もいるでしょう。今までの生活を見直す機会として有意義に過ごされたのではないかと思います。そのような時間に得た学習の成果を地域に還元していただき、このコロナ禍の中でも市民の「学び」が途絶えることなく続いていくよう、生涯学習奨励員の皆さんにご協力いただければ幸いです。

年間行事が全て中止に 感染症収束へ「心の連携」を

前奨連の令和二年度の年間行事は新型コロナウイルスの感染の広がりのため、自粛要請が出されていることから、中心の催しが全て中止されました。

まず五月一日日に開催の予定だった前奨連総会が中止になりました。全奨励員が一堂に集い、交流を深める予定でした。研修会では「赤城山の生い立ち」と題して能登健氏の講演を計画していました。

また、九月に計画した「生涯学習フェスティバル」も中止されました。会場では、各町の動向を伝える「広報紙まつり」や「テーマ展示」Ⅱわが町紹介Ⅱ、「昔遊び・リサイクル工作ひろば」などが行われる予定でした。

例年、年末に開催される「生涯学習実

第一回理事会 活動の足跡を一冊に 「生涯学習冊子」を発行へ

令和二年度の前奨連第一回理事会が九月四日に中央公民館で開かれました。会議はコロナ禍の感染防止のため、各自の席の間隔をあけるなどの配慮をしながら進行了ました。

議題は前奨連の今後の事業の進め方が主なテーマになりました。まず、例年、新年に実施している「前奨連セミナー」

実践研究会」も

中止に。研究会は市内五ブロックに分かれ、日頃の実践活動の事例を討議する機会でした。また、新年に開催予定の「前奨連セミナー」

も三密を避けるため見送りが決定されました。

自粛生活の中で、失われたのは、会員の絆を深める交流の機会でした。新しい年で、奨励員が元気な姿で再会できる日を楽しみに、また感染症の収束へ向けて「心の連携」を深め努力してまいりましょう。

皆さまのご健康を心からお祈りいたします。
(広報委員会)

※関連記事は四面に掲載します

の開催について意見交換を行いました。したが、感染症への不安が、まだ続いていることから中止するとの結論になりました。

今後の事業としては、自粛生活が続く中、奨励員の活動を紹介する生涯学習冊子「地域のつながりを求めて」を発行することが決められました。冊子は全奨励員から原稿を募り、主に公民館の職員が編集作業にあたり、来春に発行の予定です。

※関連記事は四面に掲載します



今年最後の行事となった1月の前奨連セミナー

地区だより 39

オンライン講座として

星座の調べ方など学ぶ

前奨連理事・桂萱地区 亀泉町奨励員

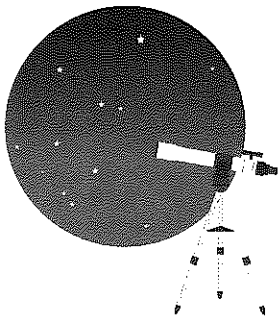
吉岡 一男

桂萱地区では例年は、五月中旬に地区の生涯学習奨励員（以下、奨励員と略記）が一同に会して、新役員の紹介や事業計画を決める連絡協議会が開かれます。そして七月上旬頃に、地区の自治会長と奨励員と一緒にバスで文化施設等を巡りながら親交を深める合同野外研修があります。また、夏から秋に地区の奨励員の知見を広める研修講座が開かれます。さらに、十月下旬に桂萱地区文化祭が二日間、桂萱公民館で開かれますが、奨励員の役割は「かがやふれ愛コンサート」と称するコンサートへの準備や手伝いです。昨年度は県立勢多農林高校の吹奏楽部に出演してもらいました。会長は本番の演奏前に挨拶をすることになっていますが、私は定年退職した放送大学での講義の日と重なり、副会長の齋藤宗治氏にお願いしました。

この他、前橋市全体の行事への準備や参加もしております。代表的なもの

は、八月下旬に開かれる前橋市生涯学習フェスティバルです。また、私は前奨連では研修委員会に属していますので、生涯学習実践研究会の本番等に出席したり桂萱地区の発表者の依頼（前年度は桂萱地区連絡協議会の書記の南保克己氏）等をしました。

今年度は新型コロナウイルス禍のため、以上で述べた行事が軒並み中止になりました。私は昨年度、奨励員になったばかりで、同じ年に西片貝町の自治会長になられた岡本健一氏の代わりに急遽、桂萱地区の会長にもなりました。したがって昨年は、与えられた役割をこなすのに精一杯でした。唯一、私が放送大学で天文学を教えていた関係から今年三月六日に桂萱公民館の親子星空観察会を頼まれたのが、私の知識を生かせる活動の場でしたが、コロナ禍で中止になりました。ただ、桂萱オンライン講座の一つとして、星座早見盤を用いた夜の星空の調べ方の講師を頼まれています。これを第一歩として、私の知識を生かした奨励員としての活動も始めていこうと思います。



生涯学習奨励員。いま、わが町で。

出前講座を活用して

体験ツアーなどを実施

城南地区 筑井町奨励員

丸橋 孝義

筑井町生涯学習推進委員会が平成二九年に九名の推進員で始まりました。その当時、推進員の事業に対する考え方は、子ども育成会と連携して事業を始めようということになり「筑井町子ども塾」として五四名の小学生を対象に様々な事業を考えました。

保護者に対して希望する行事、曜日及び時間などのアンケート調査を行い希望の多かった習字や夏休みの宿題支援などの事業を実施しましたが参加者が少なく頓挫してしまいました。最近の小学生は、塾やスポーツクラブなどで忙しく推進委員会が計画した行事に参加できないことが分かりました。

そこで、改めて考えたのが市生涯学習課が主管している「出前講座」の活用でした。まず初めに平成三〇年六月「スポーツ吹矢」を筑井公民館で実施しました。このスポーツ吹矢は愛好会へ発展し今でも月二回自主事業として継続しております。

次に、平成三〇年九月に実施したのは「来て見て体感三Rバスツアー」でした。この事業では、市の「ごみ減量課」の多大なご協力を得て清掃工場の見学

のほかに臨江閣の見学を加えていただき参加者も多くなり大変好評でした。

この参加者の協力により令和元年の「第二回敬老文化祭作品展」に沢山の作品が集まり、敬老文化祭がにぎやかに実施できました。

また、平成三二年二月には「津久田人形芝居」実演会を実施して町民から感動の言葉をいただき、推進員一同大変感激いたしました。

町の歴史を学び直し

生涯学習の活動を推進

元総社地区 鳥羽町東部奨励員

金井 照雄

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・県そして市の事細かな指導を受ける中、生涯学習をどう実践していくか自治会とも相談し模索してきましたが、今年三月から主な行事はほとんど中止になっています。

町内の皆さんが一同に顔を合わせることでできない状況で、三密を避けながら少人数でできること、屋外でできることを検討し、鳥羽町東部では、公民館が狭いため、少人数で参加できる輪投げ、公民館清掃（町内清掃を含め毎月一回各班の持ち回り）を実施してきました。屋外では公園清掃（除草含む）、花壇づくり、前橋インター側道の除草作業などです。

町内では、三世代間交流を大切にし、積

極的に実施してきましたが、一度も開催されていません。

この様な状況の中、町内の皆さんの声を聞かせてもらえる機会を創り出し、コロナ禍をどう克服して行くか意見を集約し活用していく努力もして行かなければなりません。

今、この時だからこそ歴史を学ぶ機会ではないでしょうか、少し町の歴史を紹介したいと思います。

鳥羽町は、長い歴史を持つ元総社地区の

「いきいき第二サロン」で

楽しく抹茶など味わう

上川淵地区 山王町一丁目奨励員

佐藤 道子

今から四年前当時の自治会長から「この町内も団地ができて五〇年以上が経過して、すっかり高齢化が進み家の中にいる人が多いと思うので、その人達がお互いに交流する方法はないのか」と相談されました。

一部の人間から男性は囲碁将棋、女性には抹茶を飲む会というのはどうだろうかという話が出ました。私は家で抹茶を教えていましたので、千利休以来四百年余り脈々と続いている日本の総合文化のお茶の世界を、町内の人達に知っていただく良い機会ではないかと思いい賛同しました。

年度の途中で早速に参加者をつのり男性一〇名女性一〇数名が集まりましたので、代表、監査、会計を決

中でも比較的新しい町です。戦国の世も終わり、秋元長朝の支配する領地となり、利根川から水を引き込むための天狗岩用水の開削と合わせ、武士百姓として農耕開拓に従事していた人達が新田開発のために入植し新しい集落が生まれました。鳥羽村の始まりです。

約四〇〇年以上の歴史・伝統・文化に培われてきた町内のふれあい、憩いの場を維持し創意工夫しながら今まで以上に盛り上げていくことも生涯学習を推進してい



好評を呼ぶ和室でのお茶会

め「山王町一丁目いきいき第二サロン」として発足しました。

囲碁将棋は月の第一第三土曜日、抹茶は第三土曜で共に十時から十二時迄です。

第三土曜日は囲碁将棋はホールで抹

くことと思います。

知恵を貸して下さい、共に頑張りましょう。

地域のつながりを大切に

安全を第一に活動したい

前奨連理事・一中地区 本町二丁目奨励員

中川原 孝信

今年はいよいよ新しい新型コロナに見舞われ町内で計画していた活動はあらか

茶は和室で同時に十時から始まりますが、女性が抹茶を飲み終るころ、将棋をさし終えた男性達が順次、和室に移動して和菓子と抹茶を頂きます。特にこのお抹茶で心が和むと男性から高く評価されています。

運営にあたっては関係団体からの助成金と会員の皆様の会費で運営しています。

四年目に入った四月からコロナ禍で和室のお茶は中止していましたが、その間に自治会に相談して立礼のお道具を一式購入していただき、十月からはホールでできるようにしました。点検する人もいただく人もテーブルと椅子で共に間隔をあけ、部屋の換気をして、お茶わんも一人ひとり替えて飲んでいます。ホールでの新しいお茶は足の痛みから解放され皆さん大喜びしています。このお茶会が、これからも末永く町内の憩いの場となる様願っています。

た中止、縮小の対応を取りました。

四月、緊急事態宣言が出て、高齢者の多い当町はおさらですが、行政側の要請もあり住民、家族や職場の間にも不要な外出を控えるムードが強くなって来ました。

毎月のお年寄りや学生との「いきいきサロン」における交流会をはじめ八月、八幡宮公園での「納涼祭」、十二月の「芸能発表会」など軒並み中止。なお、「敬老会」は一堂に会することはかなわず祝金を届けるだけとなりました。

十月、例年、八幡宮みこし保存会を主体に参加している「前橋まつり」は主催者側から早々に中止が決まり、去年に続き中止。二年のブランクが生じることになりました。さらに、十一月、中央地区地域づくり事業においても、元氣21を会場に開催される「元氣フェスタ」などをすべて中止です。

そんな中、自治会に係り、伝統行事である「あびす講」や年明けの「初市まつり」は規模を縮小し実施することになりました。

次に、月二回の「八幡宮公園清掃」と隔月の「廃品回収」は町内環境を維持するためコロナ禍の現在も実施しています。なお、夏季「ラジオ体操」も例年同様実施いたしました。

このところ新型コロナ感染が拡大しています。今まで地域活動を通じて培ってきた、住民同士の横のつながり、地域とのつながり、さらに伝統行事の沈滞が懸念されます。今年を無駄にせず、活動は安全第一に地域のつながりを絶やさないようにしたいと思います。

中止された令和2年度の行事計画

月・日	会議・事業	主 要 事 項
4月	総務委員会	▼理事会対応案件他
4月	第1回理事会	▼2年度事業・予算等総会関連 ▼2年度総会・研修会関連
5月	総務委員会	▼総会関係資料作成関連・作業
5月14日	2年度総会・研修会	▼元年度事業実績・決算、2年度事業計画・予算 ▼研修会
5月	生涯学習フェスティバル2020 第1回代表者会議	▼行事開催計画
6月	生涯学習フェスティバル2020 第2回代表者会議	▼具体的開催計画
	総務委員会	▼理事会対応案件他
7月	広報委員会	▼委員会の役割、「前奨連」広報発行ほか年度計画
	研修委員会	▼委員会の役割、生涯学習実践研究会・前奨連セミナー開催ほか年度計画
	第2回理事会	▼2年度基本的方向付け ▼フェスティバル開催計画 ▼広報・研修委員会年度計画
8月	生涯学習フェスティバル2020 第3回代表者会議	▼フェスティバルの具体的開催内容の確認
	第3回理事会	▼フェスティバルの開催計画・内容確認 ▼生涯学習実践研究会・前奨連セミナーの開催計画
9月4日	生涯学習フェスティバル2020 会場準備作業	
9月5日	生涯学習フェスティバル2020 前奨連＝〇わが町広報紙まつり 〇テーマ展示 〇特設コーナー 〇その他	
10月	総務委員会	▼理事会対応案件他
	生涯学習フェスティバル2020 第4回代表者会議	▼2年度開催結果 ▼3年度開催計画
	第4回理事会	▼フェスティバルの総括 ▼実践研究会の具体的開催方法・前奨連セミナー詳細内容他
	広報委員会	▼「前奨連」広報発行計画
	研修委員会	▼生涯学習実践研究会および前奨連セミナー実施詳細計画
12月	生涯学習実践研究会	▼地域ブロック別当該地域内での開催
1～2月	前奨連セミナー①、②	▼2コースを開設予定

生涯学習冊子

地域活動のヒストリー
コロナ禍のもとの活動も紹介

来春に発行される生涯学習冊子「地域のつながりを求めて」奨励員の活動紹介」(前橋市生涯学習推進本部・前奨連主催)は行事の自粛が続く中で、奨励員が自宅で学習し、地域活動の新たなヒントとして役立ててもらいたいとの思いが込められています。

冊子は奨励員から寄せられた原稿を

担当します。

冊子の内容は三部構成になります。第一部は「生涯学習奨励員コラム」です。ここでは、奨励員として日ごろ思うことや活動の事例、地域の魅力などが紹介されます。執筆は各地区の理事が行います。

第二部は全奨励員への一問一答形式

元に作成し、編集とインタビューなどは、市生涯学習課と各地域の公民館職員が

で構成される「町で力を入れている活動」。このコーナーでは、町独自で行っている活動や重要だと思ふ事例、行動に際し工夫していること、将来の夢などが紹介されます。

第三部では、コロナ禍のもとの奨励員活動を紹介する「生涯学習活動事例紹介」。内容は感染症に配慮して行った活動紹介、今後の取り組み、学んでみたいことなどが収録されます。

戦後七五年の年となり

戦争の記憶を後世に
島田顧問が講演
関連資料を配布へ

ました。戦争の記憶を語り継ぐ方が少しずつ減っている中、今年は新型コロナウイルスの影響で、中高生の修学旅行もその多くが中止となり、沖縄等での戦争体験者の話を聞く貴重な機会も失われているようです。

三〇年以上奨励員を続けられた、前奨連顧問の島田兼之さんは、ご自身が戦争を体験された方、実際に戦地へ出征した経験のある方です。

今年一二月一三日には、城南公民館に島田先生を講師としてお呼びして「戦争の記憶を語る」平和への思いを後世へ」と題した戦争講話の講演会を行うこととなりました。今回、講演会を聞きにこられない方々にも島田先生の思いをお届けできるよう、講演会の様子を収めた映像資料や、講話内容を文字に起こした読み物資料の製作も同時に進めています。

また、別日で行った城南地区生涯学習奨励員会長の福田寛司さんと島田先生による対談からは、講演会では伺えなかった貴重なお話もお聞きすることができました。それらも含めた映像資料や読み物資料は、今後の本市の平和学習での活用や奨励員の皆さまへの配布を考えております。お手元に届きましたらぜひご覧ください。戦争体験者の生の声に耳を傾け、平和について考える時間を設けていただけたら幸いです。

(生涯学習課社会教育係 青木滋旺)

あゆみ (4月～12月)

Ⅱ 主要事項

5・14 ■2年度総会・研修会(中止)

7・20 ■総務委員会

9・4 ■生涯学習冊子製作関連

度活動方針 ▼生涯学習冊子製作関連

◆奨励員情報(敬称略)

前橋市教育文化功労者表彰

▽11月6日付

笠原 弘 樋越町 前奨連副会長

新任

▽4月1日付

三輪 玲 亀里町 岸美喜雄 富士見町 時東

米山 孝夫 下沖町 須田 正人 富士見町 野区

牛込 豊 下新田町 ▽4月15日付

飯野 隆宏 古市町 木暮 謙吾 下新田町 東陽

丸山 勉 下細井町 ▽6月1日付

田子 敏夫 日輪寺町 石田 岳衛 広瀬町 一丁目

塩原 隆明 田口町 北爪 玲子 粕川町 田面区

女屋 隆男 茂木町 ▽9月15日付

吉田 勝正 足軽町 近藤 輝久 下石倉町

吉田 正成 富士見町 横室